

かわにし

議会だより

第126号

2016

7.15



今年も暑い
夏が来た

吉島小学校プール開きより P16に関連記事

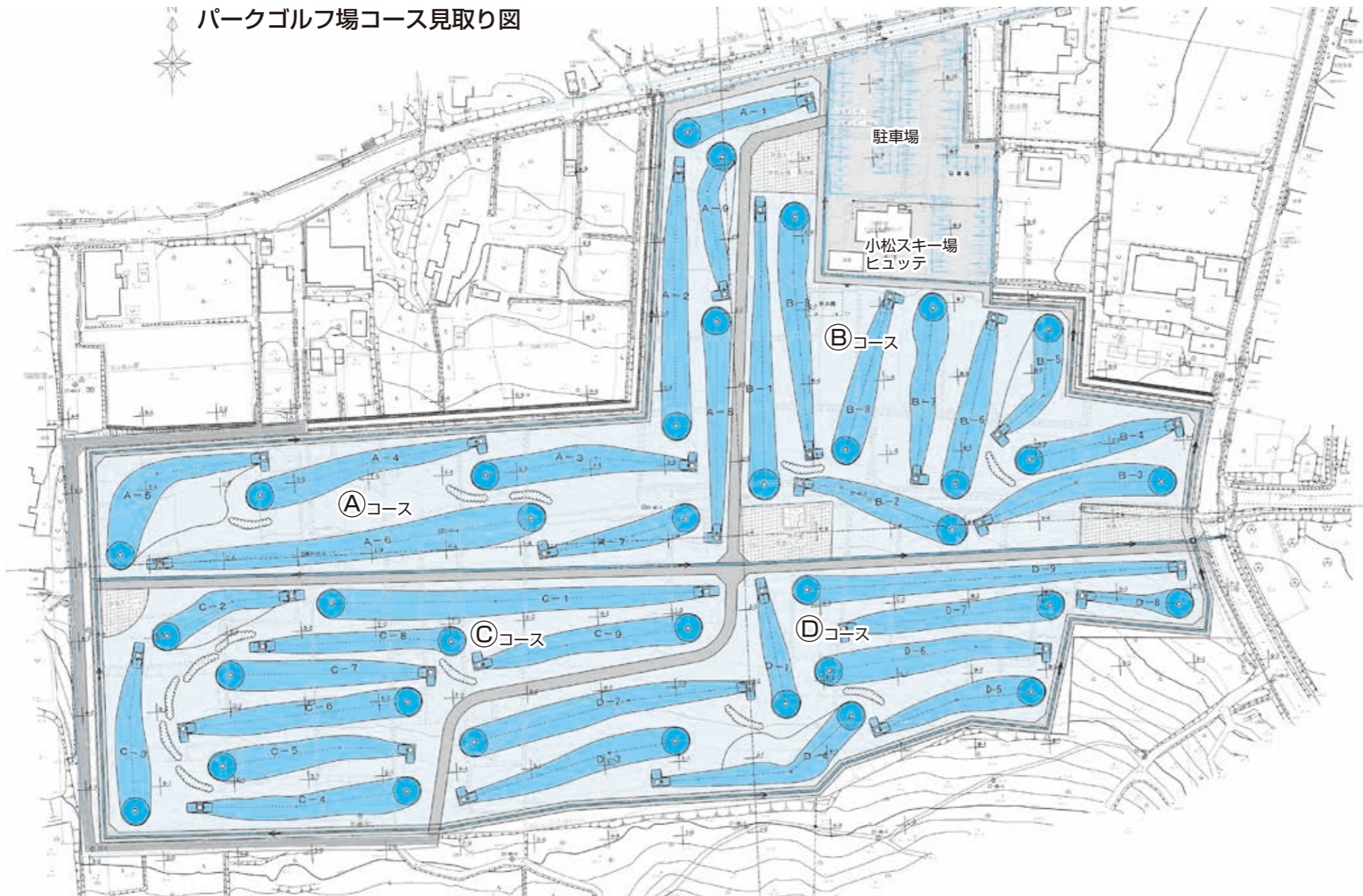
| | |
|------------------|----|
| パークゴルフ場着工 | 2 |
| 空家対策 代執行可能に | 6 |
| 一般質問 6人の議員が町政をたず | 7 |
| 政務活動費 使い道はこうでした | 19 |

6月定例会の
あらまし

第2回定例会が6月3日から15日までの13日間の会期で開催された。
第1日目に、平成27年度繰越計算書の報告、財政援助団体の経営状況3件の報告の後、3会計補正予算の専決処分を承認した。財産の取得2件を可決し、平成28年度4会計補正予算の審査を予算特別委員会に、条例1件、町道路線の認定、字の区域、名称の変更についての審査を常任委員会に、それぞれ付託した。

第4日目と5日目に一般質問を行い、6議員が地震対策等を取り上げ、町政をただした。
第6日目に降に、各常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査した。
最終日に、予算特別委員会の採決後本会議を開き、付託した7議案を原案通り可決した。追加提案された請負契約1件を可決し、請願1件を継続審査として閉会した。なお、5月6日に第3回臨時会が開催された。

パークゴルフ場 期待の中で着工 公認コース目指す



定例会最終日に、パークゴルフ場建設工事請負契約の締結議案が提案され、可決された。町は、パークゴルフ場を町営小松スキー場に整備することとし、昨年度測量、実施設計、用地の取得を行った。
このたび、指名競争入札によって工事請負契約が締結され、条例の定めにより、議会の議決を求められたもの。用地の取得は、約4ヘクタールで地権者は28人。取得額は3231万円、1筆を除き登記が完了している。コースは、3万594平方メートルに36ホール(9ホール×4コース、各コースともP133)を設置し、財団法人日本パークゴルフ協会公認コースの規格に適合する施設とする。工事の概要

- グリーン・フェアウェイ 1万3510平方メートル
- ラフ 1万6340平方メートル
- バンカー 740平方メートル
- 園路舗装 1510平方メートル
- ジョギング走路舗装 954メートル
- 付帯施設

主な質疑

問 入札予定価格に対する落札率は、指名競争入札に参加した業者数は何社か。
答 入札指名業者数は6社。予定価格に対する落札率は99・76%であった。

問 債務負担行為による2カ年における契約だが、資材、人件費が高騰した場合は、契約変更となるのか。
答 契約約款により、変更の可能性もある。

全員賛成により可決



グッドショット！パークゴルフの普及を図ろう

補正予算

総務省 地域づくり補助事業 小松・犬川・吉島地区に交付金

平成28年度一般会計等4会計の補正予算が予算特別委員会で審査された。

昨年度に引き続き、総務省の過疎地域集落ネット

3地区に交付金 3950万円

過疎地域集落ネットワーク圏形成支援事業は昨年度創設された事業で、小松、吉島地区が採択されたが、本年度は新たに犬川地区が加わり、3地区が採択

トワーク圏形成支援事業により、小松、犬川、吉島地区に合わせて3950万円の交付金が決定し、各種の地域づくり活動に取り組み。

内と外がつながる住民参加型仕事づくり事業」1200万円。

各地区ともに、地域の特色を生かし、交流事業や産業振興に取り組み。

宝くじ助成 2地区に290万円

自治宝くじコミュニティ助成事業に申請した2地区が採択された。大塚地区には、自主防災組織連合会が申請した防災備品（パワーポイント、スクリーン、プロジェクター）の購入費40万円が助成される。

吉島地区には、出張マルシェ用テント、屋台、研修用大型モニター等備品の整備に250万円が助成される。

農業経営体育成に 支援の補助金

国庫補助事業採択による新規増額を行うも

の。地域農業の担い手（中心経営体）などが経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化等に取り組みするための農業機械導入に対する補助事業。

トラクター、コンバイン、乾燥機、もみ摺機、色彩選別機等を導入する5地区8件に、1588万円が補助される。

補助率は10分の3、または融資額のいずれか低い額（上限300万円）。

小松保育所に 看護師配置

保育所では、0歳児が9人以上になると、規則により看護師または保健師を配置しなければならぬ。小松保育所が、年度中途に9人を超えることから、臨時看護師を雇用する。



アイディア次第で所得向上 (きらり吉島加工調査研究所)

平成28年度 各会計補正予算

| 会計別 | 歳入歳出予算 | 議決の内容 |
|-----------------|----------------------|-----------|
| 一般会計(第1号) | 106億2472円(4872万円を追加) | 全員賛成により可決 |
| 下水道事業特別会計(第1号) | 5億7145万円(924万円を追加) | 全員賛成により可決 |
| 介護保険事業特別会計(第1号) | 18億5465万円(2160万円を追加) | 全員賛成により可決 |

| 水道事業会計(第1号) 予算 | | 議決の内容 |
|----------------|--------------------|-----------|
| 収益的収入 | 5億1849万円(24万円を追加) | 全員賛成により認定 |
| 収益的支出 | 4億9601万円(260万円を追加) | |

一般会計補正予算(第1号)の主な内容

| (歳出) | |
|------------------------------|---------|
| 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業補助金 | 3950万円 |
| 地域おこし協力隊報酬(2人分) | 398万円 |
| 地域おこし協力隊事業 委託料(きらりよしまネットワーク) | 540万円 |
| 自治宝くじコミュニティ助成事業 | 290万円 |
| ふるさとづくり基金管理事業(積立金) | 200万円 |
| 経営体育成支援事業(5地区8件) | 1588万円 |
| 小松保育所管理経費(臨時職員の賃金) | 183万円 |
| 宿大塚線防雪柵設置工事費(事業廃止) | ▲4500万円 |
| 橋梁長寿命化修繕整備費(事業廃止) | ▲2100万円 |
| (歳入) | |
| 過疎地域等自立活性化推進交付金 | 3950万円 |
| 社会資本整備総合交付金(道路、橋梁整備) | ▲4285万円 |
| 自治宝くじコミュニティ助成金 | 290万円 |
| ふるさとづくり寄付金 | 200万円 |
| 経営体育成支援事業費県補助金 | 1580万円 |
| 財政調整基金繰入金 | 4803万円 |
| 町債(道路整備、橋梁整備) | ▲2560万円 |

主な質疑

問 ふるさとづくり基金管理事業の増額理由は。
まろつくり課長 ふるさとづくり寄付金は、平成27年度88万円と振るわなかった。

本年度は返礼品を充実させたこともあり、5月末で、すでに815万円と大幅に増加している。そのため、臨時職員賃金と返礼品の増額を図るもの。

今後「森のマルシェ」との連携によって、返礼品の追加を図っていききたい。

問 国際交流事業の内容は。
まろつくり課長 9月21日を「メキシコデー」とし、メキシコ大使、マリアッチ楽団など9人を招き、交流を行う。

問 地域おこし協力隊事業の増額理由は。
地域整備課長 当初2件(1件当たり100万円)を予算化したのが、さらに2件の応募があり、増額となった。

問 経営体育成支援事業の追加補正の理由は。
まろつくり課長 当初2人の受入れを予定したが、4人の応募があったため、2人分を追加するもの。協力隊は今年11人となった。

問 住宅の三世帯同居支援事業の増額理由は。
地域整備課長 申請による採択予定分を増額補正したものである。

意見 今後も事業採択の拡大や農業経営の法人化等について各経営体に指導を行うこと。

意見 定住促進を図るため、今後も積極的に取り組むように。

国 特別措置法を制定

空家対策 代執行可能に

提案された条例は1件。本町は平成25年3月に「空家等の適正管理条例」を制定している。国が平成26年11月に「空家等対策推進特別措置法」を公布したことを受け、整合性を図るため、町条例を改正した。

このたびの改正で、1、特別措置法では管理不全の状態にある空家を「特定空家等」としていることから、条例の文言を整理した。2、空家等の適正管理条例には、行政代執行まで規定されていなかったため、特別措置法との整合性を図った。

委員審査において規定された空家等対策計画を策定し、計画的かつ有利な対策を図るよう」という意見が出された。

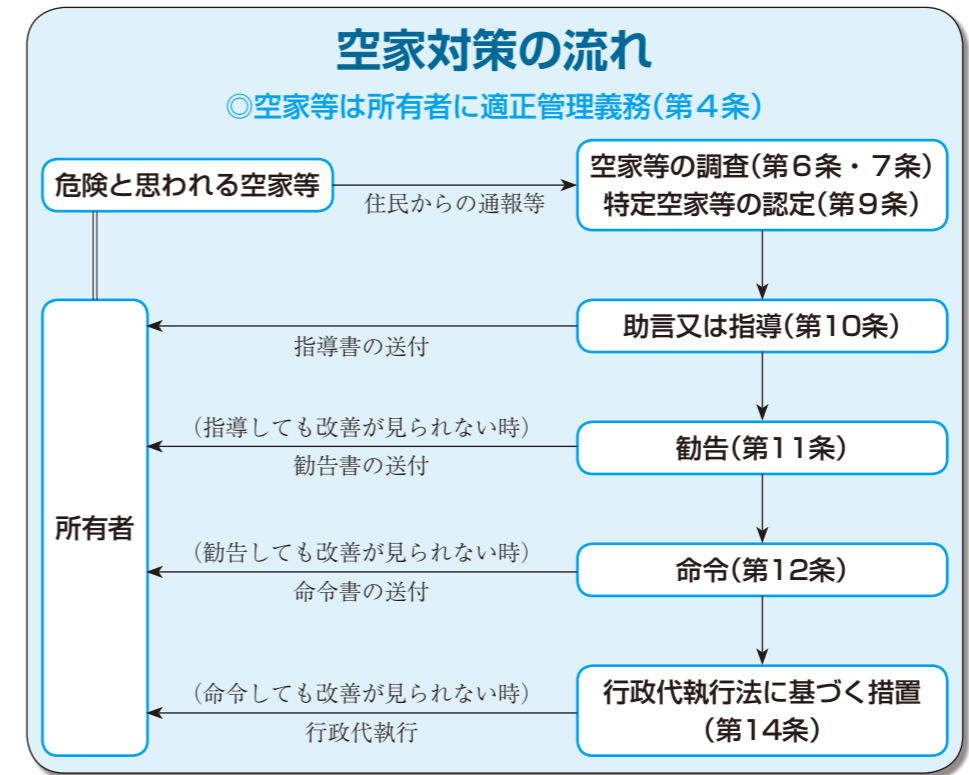
全員賛成により可決

行政代執行とは 行政上の強制執行の一種。義務者が行政上の義務を履行しない場合に、行政庁が、自ら義務者のなすべき行為を行うか、又は第三者をしてこれを行い、その費用を義務者から徴収することをいう。単に「代執行」ともいう。

本町では、空家等の老朽化や管理不十分による倒壊、建材の飛散による被害を防止するため、空家等の所有者、管理者（以下、所有者等）の管理責任を明確にする条例を制定している。

空家の問題は全国的な課題であり、国においても対策が検討されていた。

特別措置法によれば、倒壊の恐れや景観を損なう等、そのまま放置することが不適切な状態にある空家を「特定空家等」としている。その解消のため所有者等が適切な管理を行う



ここが聞きたい！

町政をたずねます

6人の議員が一般質問

定例会第4日目及び5日目に一般質問が行われ、6人の議員が町政について質問しました。

通告順（発言順）に掲載いたします。

- 神村 建二 議員
 - 8^P 1 町有バスの有効活用について
 - 2 仲人制度の進展について
 - 3 健康寿命日本一を目指す事業について
- 鈴木 幸廣 議員
 - 9^P 1 防災関連について
 - 2 公共施設の整備について
 - 3 子育て支援について
- 伊藤 進 議員
 - 10^P 1 公共交通の確保について
 - 2 新たな人材育成について
- 鈴木清左衛門 議員
 - 11^P 1 観光拠点づくりの2
 - 2 産業の展開と深化について
 - 3 災害対応について
- 伊藤 寿郎 議員
 - 12^P 1 空家・特定空屋等対策について
 - 2 かわにし森のマルシェの今後の展開は
- 橋本 欣一 議員
 - 13^P 1 川西町の地震対策について
 - 2 日本版CCRC構想について

白抜きの数字は掲載された質問ですが、それ以外は紙面の都合により掲載できませんでした。その内容は、議会ホームページの録画中継によってご覧になれます。

(http://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

一般質問とは

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。

本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。

また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。

一般質問

交通

町有バスをもっと広く使えるようにできないか

町長ー混乗利用は難しい



神村建二 議員

神村 最近町民から、町有バスの有効活用についてもっと広く使えるようにできないかとの声を聞いている。具体的には①スクールバス運行時に、生徒だけでなく一般の人と一緒に乗るようにできないか。②町内諸団体が町外行事に参加するときに、町有バスを運行してもらえないか。これらの要望に対しては制度上の規制がある

と思うが、こういった町民の声に対して所見を尋ねる。

町長 ①スクールバスは園児、児童、生徒の通園、通学に使用することを目的としている。本来の目的や生徒数に応じてバスを配置している。安全性の確保が最優先であり、混乗利用については現状では難しい。②町が所有するマイクロバスは1台であるため、原則として町の業務を優先している。対象団体としては川西町老人クラブ連合会、川西町社会福祉協議会等があり、町業務日程と調整を図りながら配車を行っている。

①現状はルールがあり混乗は難しいと思うが、町民の方が利便性を実感できる方法を将来的課題として検討することを望む。②対象団体が利用

する場合は手続きの周知方法は。②各団体事務局に周知している。仲人制度は進展しているか

神村 ①現状はルールがあり混乗は難しいと思うが、町民の方が利便性を実感できる方法を将来的課題として検討することを望む。②対象団体が利用

する場合は手続きの周知方法は。②各団体事務局に周知している。仲人制度は進展しているか

「ライフデザイナー」について、その後の進展について尋ねる。①所期

若者の出会いの場は平成26年度から実施し、今年度は町内の企業・団体に協力をいただき、実行委員会を組織して研修会や交流イベントを開催する予定である。健康寿命日本一を目指せ

の成果を得ているか。②課題となっていることはあるか。③数値目標はあるか。これらについて問う。



山形県の健康マイレージで意識付け

※健康マイレージ 県は健康マイレージ、町は健康マイレージ。

地震

活断層上に公共施設はあるか

町長ー東陽寺前町営住宅の一部が該当

鈴木 本年4月に発生した活断層を震源とする熊本地震を受け、県では本町の置賜農業高校の温室等が活断層上に立地していると公表したが、本町公共施設は活断層上にあるのか。

町長 本町には、長井盆地西縁断層帯が下小松から大舟にかけて山際を南北に走り、相馬山、虚空蔵山を通り米沢へとつながっている。県では活断層上の片側50m幅での調査を行っており、この調査法によると本町公共施設では東陽寺前町営住宅の一部が該当する。

鈴木 この施設及び長井盆地西縁断層帯の位置を町民に公表するの。

町長 町報・ホームページ等で活断層の位置及び震度分布、地震発生時にとるべき行動・非常持出品・食糧備蓄の必要性を周知する。また、町地域防災計画の見直しを行い、町と町民が一体となる防災対策に努めていく。

鈴木 幼稚園・保育所・小中学校の洋式トイレの設置状況及び各交流センター・町交流館の設置状況は

どうなっているか。

町長 幼稚園・保育所の幼児施設では54・55%、小学校では37・36%、中学校では33・33%、の設置状況である。また、各地区交流センターは50%、町交流館は32・14%である。

鈴木 近年、家庭内のトイレの洋式化が進み、低年齢層の和式トイレでの経験がなく、用を足すことが負担と感じる子どもが多い。また、各交流センターでは、高齢者や、国内外からの利用者がいることから早急に洋式化を進めてもらいた

い。

町長 幼稚園・保育所・各小中学校から要望を受けており、優先順位を設定し順次進めていく。また、各交流センターなど町公共施設の整備は維持管理計画に基づいて順次整備に努める。

町長 子どもの医療費無料化を実施している市町村に対し、国が交付金を減額していることについて、平成29年度にも見直すことを含め現在検討されているなど状況が変化している。国の動向や財政負担を見極め、将来的に持続可能な仕組みとして、任期中に実施できるような方法や時期を含め適切に判断する。

鈴木 町長は今回の町長選挙の公約で、医療費の無料化を18歳まで拡大し、保護者の経済的負担を軽減するとしているが、確実に

実施するの。



鈴木幸廣 議員



活断層がはしる町有施設

一般質問



伊藤 進 議員

交通弱者の具体的な足の確保は

交通

町長ーデマンド型の改善をはかる

伊藤 「かわにし未来ビジョン」、「過疎地域自立促進計画」では日常交通の確保として「デマンド型乗り合い交通システム」の計画があるが。

かに育つ環境づくり」に直接関わらないにしても、通学者の足の確保は重要だが。

町長 既存民間業者運営の地域公共交通の利用拡大を促進。

カバーできない部分をデマンド型乗合交通システムの改善を図りながら補完していくことが重要と考えている。

伊藤 「移住・定住プロジェクト」、「子供が夢を持ち健やかに育つ環境づくり」

保に向けた総合交通体系の在り方」について、継続して検討するとしているが、より具体的な取組みが求められている。

町長 デマンド型交通システムは、地域公共交通の活用拡大を促進。

運行があげられる。置賜総合支庁総務課連携支援室において、本町を含め管内各市町に共通する課題として整理している。今後、解決に向け協議の場の設置

伊藤 「移住・定住プロジェクト」

等、広域的な取り組みの推進に期待する。本町も積極的に参画し、課題解決に努めていきたい。

町長 デマンド型交通システムは、地域公共交通の活用拡大を促進。

職員の人材育成は新たな職員の人材育成基本方針の対象者。全職員が対象。年度ごとに研修計画を策定し、人材育成に努めている。

伊藤 「移住・定住プロジェクト」

地域とともにある学校とは



町民の足となったデマンド交通

② 学校課題の解決、③ 児童の変化、④ 地域への波及効果。

伊藤 地域コミュニティイスクールの指定を受けたことで学校運営に地域が関わっていくことになるが、社会教育の関係など、今後の取り組みについて教育長に伺いたい。

伊藤 文部科学省が「地域とともにある学校」へと転換を進めようとしている、ということであるが、何もかにも地域に押し付けてくるということはないのか。

町長 コミュニティイスクールの導入することで、主に四つの効果が考えられる。

教育 学校運営協議会、学校支援地域本部の二つを設置し、本町としても先進的に取り組んでいきたい。

伊藤 地域コミュニティイスクールの指定を受けたことで学校運営に地域が関わっていくことになるが、社会教育の関係など、今後の取り組みについて教育長に伺いたい。

教育 学校運営協議会、学校支援地域本部の二つを設置し、本町としても先進的に取り組んでいきたい。

観光

「うぜんトーマスえき」をつくれ

町長ー既存観光資源をアピールしてゆく

鈴木 全天候型で、子どもたちがミニ蒸気機関車に乗れたり、ミニSUV（四駆）を楽しめるアミューズメントパークを本町に展開する。

モツシ弁当」で東京駅の「牛肉どまん中弁当」の脇でも売る。お菓子などいろいろな商品を創出する。

町長 本町ではデマンド型乗り合いシステムの運行を平成18年から開始し、地域交通の充実を図ってきた。

この未来ビジョンについてどう思うか。

伊藤 「移住・定住プロジェクト」

民泊業の確立は民泊業の確立について聞く。「空

町長 本町観光の拠点であるダリヤ園周辺一帯の有機的な結びつきをより高めるとともに、下小松古墳群やフレンドリープラザなどの既存資源をアピールし、ソフト展開を充実させて足元を固めたい。

家対策」など、民泊における新たな法制度は「家主居住型」と「家主不在型」とに分類することで、さまざまな規制をかけながらも、幅を持たせたものとなる。行政が「仲介業者」として間接的に運営に関わり「民泊」新時代に向け準備に入るべきではないか。

伊藤 町行政が民泊の仲介業を行うとの提案については、旅行業者が現に行っている仕事であるので、今後も仲介は旅行業者に担ってもらいたい。

その部分において調整が必要

鈴木 メキシコとの国際交流はメキシコ合衆国との交流の進捗

「やまがた里の暮らし」が適した組織であると認識している。

町長 「かわにし」森のマルシェについて

9月21日に駐日メキシコ大使を招き、「メキシコデー」のイベントを行う。

その他 質問

地震対策について質問した。

鈴木 メキシコ合衆国との交流の進捗

「やまがた里の暮らし」が適した組織であると認識している。

町長 「かわにし」森のマルシェについて

9月21日に駐日メキシコ大使を招き、「メキシコデー」のイベントを行う。

その他 質問

地震対策について質問した。

鈴木 メキシコ合衆国との交流の進捗

「やまがた里の暮らし」が適した組織であると認識している。

町長 「かわにし」森のマルシェについて

9月21日に駐日メキシコ大使を招き、「メキシコデー」のイベントを行う。

その他 質問

地震対策について質問した。

鈴木 メキシコ合衆国との交流の進捗

「やまがた里の暮らし」が適した組織であると認識している。

町長 「かわにし」森のマルシェについて

9月21日に駐日メキシコ大使を招き、「メキシコデー」のイベントを行う。

その他 質問

地震対策について質問した。



ミニ4駆でもまちづくりを

一般質問

空 屋 町長 — 効果的な措置が組み込まれ評価できる



伊藤寿郎 議員

伊藤 空家等対策の推進に関する特別措置法の評価は。

町長 所有者を特定するため税情報の利用が出来るほか、勧告を行うことで地方税上の固定資産税等の住宅用地特例対象からの除外、特定空家周辺住民の危険を回避するため行政代執行法に基づく措置について明記されるなど、自治体における措置の強化が図られた。

併せて、所有者による空家の除去に対しての支援も含まれ、住民の安全安心を確保するために効果的な措置が組み込まれ評価できる。

伊藤 条例や要綱の必要性をどう考えるのか。

町長 法令と条例の整合を図る必要があると判断し、本議会定例会において条例の一部を改訂する条例を

議案として上程し、審議いただくこととなった。

伊藤 適用するにあたっての考えは。

町長 専門家等の助言もいただきながら、助言、指導、勧告、命令を行い、所有者による空家等の適正管理を促す努力を行う必要がある。

伊藤 短、中期の計画は。

町長 短期的な計画、対応は出荷者に対して出荷品目の販売状況を日々メールで周知、半月毎に販売状況の集計をお知らせし計画的な出荷を促している。中期的には果樹や単価の高い農産物を栽培する生産者の支援が必要と考えている。

伊藤 販売促進のイベント等は。



川西町をまるごと販売(かわにし森のマルシェ)のオープニングセレモニー

町長 やまがた里の暮らし推進機構と学部や置賜農業高校との連携を一層強化し、店内ブースの模様替え・月1回程度の置賜農高生による直接販売の機会を設けるなど、

話題づくりに努めたい。また、各種イベント情報を提供しながら町内施設との連携を図り、観光客に周遊ルートを提案するなど観光情報の発信にも努めていきたい。

地震 活断層上の民間建物の公表はどうする

町長 — 詳細な調査結果がないため公表はできない

橋本 熊本・大分地震では、住宅・施設の直下の活断層の活動により大きな被害が出ており、いまだに収束していない。町内にも活断層が走っており、置賜農高の園芸ハウスが活断層上にあると公表された。町有施設や民家が該当する場合公表して、安全策を取るべきだが考えは。

町長 活断層の存在は確認されているが、正確な位置がわからないため特定できない。また、特定できても、その部分的な被害にとどまらず町全体での被害が考えられる。

公表して不安を与えることも考えられるので、慎重に取り扱いたい。

橋本 公共施設の耐震化は計画を立てて進めているが、民間の住宅の耐震化についてはどう進めるか。また、被災後一刻も早く復旧するために必要な罹災証明を出すための被害認定を判断する職員はいるのか。

町長 耐震改修促進計画を定め、耐震化の相談や各種情報を提供している。耐震診断助成、耐震改修補助も行っており、今後も住宅の耐震の促進に努める。



防災拠点の一つ、川西消防署の耐震工事始まる

本町には、被害認定調査ができる職員はいない。養成を図りたい。広域的な支援要請の在り方も検討する。

橋本 役場庁舎の耐震性がなく、災害時わかっている。災害時の対策本部の確保は重要だ。防災計画では中央公民館、消防署が指定されている。いずれも、耐震性がなく、手狭であるが、新たに指定する必要があるのでは。

町長 役場庁舎も中央公民館も平成37年まで改築する計画である。災害時であることを考えれば、臨機応変に対応し、新築の小松小学校を使うことも考えられる。

橋本 水道などのライフラインの早期の復旧と福祉避難所の設置も必要では。

町長 町内の送水管の耐震化を進めており、平成30年には完成する。また、水道技術者の養成も図る。一般の避難所での生活が困難な方々には、福祉避難所として、小松保育所と生きがい交流館を指定している。より重症者についてはそよ風の森と協定を結び安全確保を図る。

橋本 公立置賜総合病院周辺の開発の中心となるかわにし版CCRC構想の考えは。

町長 自然環境、歴史や伝統文化、豊饒な大地、高度医療の提供などを加味し、川西らしさのあるものとしていきたい。

橋本欣一 議員

27年度予算

事業の確定で減額

専決処分

財産取得

平成27年度一般会計補正予算ほか2会計の専決処分が行われ、それぞれ承認を求められた。いずれも、交付金の決定や、事業の確定によるもので、議会を招集する時間がなかったため、専決処分を行った。専決処分された額は表の通りである。* 予定していた財政調整基金からの繰り入れ

専決処分した平成27年度補正予算

| 項目 | 内容 | 補正額 | 総額 |
|-------------------|--------|-----------|------------|
| 一般会計(第9号) | 交付金の決定 | ▲5億2474万円 | 110億7180万円 |
| 国民健康保険事業特別会計(第4号) | 事業の確定 | ▲458万円 | 21億2318万円 |
| 介護保険事業特別会計(第5号) | 事業の確定 | ▲7774万円 | 17億6223万円 |

全員賛成により承認

は全額戻され、かつ500万円を積み立てることとした。その結果、財政調整基金の残高は7億9562万円となった。

専決処分とは

議会の権限に属する事項について、町長が議会に代わって意思決定を行うこと。

平成27年度の事業において、年度内にその事業の支出が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越し使用することができ、表の7事業がそれにあたる。給付金の概要は、65歳以上の低所得の高齢者を対象とした給付金の支給にあてられる。また、農業経営体の育成を図るため、農業用機械・施設を導入する際に補助金を交付し、主体的な経営発展を支援する。パークゴルフ場の整備事業は平成27年度に相続関係で用地取得できなかった土地を本年度に買取する費用であ

繰越明許

翌年度へ繰り越し

全員賛成により承認

町当局は、これらの事業を遅滞なく推進するとしている。

繰越明許とは

年度内に予定していた事業が終わらず、予算を次年度に繰越して事業を完成させることを完成させること。議会の承認が必要。

平成27年度から繰越した事業

(単位：万円)

| 事業名 | 繰越額 | 財源内訳 | | | |
|---------------------|-------|--------|-------|-----|------|
| | | 収入特定財源 | 国県支出金 | 町債 | 一般財源 |
| 川西版CCRC構想策定事業 | 1180 | | 1180 | | |
| 電子自治体推進事業 | 1365 | | 630 | 630 | 105 |
| フラワー長井線「稼ぐ力」創造事業 | 1650 | | 1650 | | |
| 低所得の高齢者向け給付金事業 | 6494 | 6494 | | | |
| 子ども・子育て支援システム改修事業 | 102 | | 51 | | 51 |
| 担い手確保・経営強化支援事業 | 2859 | | 2859 | | |
| ふれあいの丘(パークゴルフ場)整備事業 | 48 | | | | 48 |
| 合計 | 13698 | 6494 | 6370 | 630 | 204 |



冬に備えて万全体制



同型のポンプ車。最新装備で充実した活動を図る。

除雪車・消防車を更新 災害時にいち早く対応

「議会の議決に付すべき契約及び財産又は処分に関する条例」の規定により、2件の財産取得が提案された。

ロータリー除雪車更新

昨冬まで使用していたロータリー除雪車が、老朽化や耐用年数の経過により、メンテナンス

スに費用がかさむため、国の助成金を利用し更新する。購入するロータリー除雪車は2・2m級となる。

昨冬は雪が少なかったが、町道の除雪に万

全を期するため更新配備する。

指名競争入札
落札者 南陽市漆山
日立建機日本株式会社
落札価格 3238万円(消費税込み)

全員賛成により可決

納入期限 平成28年11月18日

大塚にポンプ車

町内の火災・災害時にいち早く対応できるように、より一層の充実を図り消防団活動の万全を期するため、老朽化した小型動力ポンプ付軽積載車を、機動力のある消防ポンプ自動車(CD-1型)に更新する。

全員賛成により可決

配備先は、第二分団第三部一班(大塚地区元宿)指名競争入札
落札者 米沢市窪田町窪田 日本防災工業株式会社
落札価格 2034万円(消費税込み)
納入期限 平成29年1月27日

国民健康保険税

課税限度額を89万円に

第3回臨時会

5月6日に第三回臨時会が開かれ、税条例の改正2件が提案された。

① 都市計画税条例
② 国民健康保険税条例
③ 固定資産評価審査委員会条例等、関係条例



健康は幼児から(3歳児検診)

町税を改正

地方税法の一部改正に伴い、①税条例等

を改正するため提案された。
主な改正は次のとおり。

- 法人税の税率を改定し、現行税率100分の12・1から新税率100分の8・4にする。
- 軽自動車税の改定は、取得者に環境性能割を、所有者に種別割を課す方式とするもの。
- 環境性能割の税率は、100分の2を上限とする。種別割は現行軽自動車税額と同額。
- 国民健康保険税は、課税限度額を改定する。基礎課税額を52万円から54万円、後期高齢者支援助金等課税額17万円から19万円、介護納

付金課税額は16万円は据え置き、合計限度額は89万円となる。

全員賛成により可決
企業立地促進のため固定資産税を不均一課税とし、優遇

地域再生法に基づき県が策定した「山形県企業立地活性化計画」に沿い、東京23区内外から本社機能を本町に移転した場合に、拠点の強化を図るために整備した設備等に係る固定資産税について、税の優遇措置として不均一課税を行うための条例を設定するもの。

表紙の写真

今年も暑い夏が来た今年も、お楽しみみのプールのシーズンがやってきた。まだまだ本格的なシーズンとはならないため、肌寒さを感じる吉島小学校プール開きだった。

先生のお話のあとに、今年の目標を立てて、プールに入った。あまりの冷たさにびっくり。こちらも身が縮みあがるようだ。さすが、子どもは慣れが早い、すぐに、水かけ遊びになり、肌寒さも吹っ飛ばすようになった。

安全な水のシーズンになるように、さらに交通安全も祈りながら夏のスタート。

ヘイトスピーチ禁止

願意を確認のため審査を継続

継続

◎人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し処罰する法律の制定を求める請願について

《所管》
総務文教常任委員会

《請願者》
在日本大韓民国民団山形地方本部
団長 車 壽鎔
《紹介議員》
淀 秀夫

《審査の経過と結果》
本請願の願意は、三つある。
①ヘイトスピーチを禁止することを求める意見書の国への提出。
②日本が批准を留保している人種差別撤廃条

約4条(a)(b)(人種差別の扇動などの処罰義務)に関し、留保を撤回するよう国へ働きかける。

③請願の題名にある処罰する法律の制定を求める。

国会において、5月24日に、ヘイトスピーチ対策法が可決、成立した。法には、憲法が保障する表現の自由を侵害する恐れがあると

して、罰則規定はない。ヘイトスピーチ対策法が成立したとはいえ、願意が満たされているとは言い難いことから、請願者の意向を確認するため、審査未了とし継続審査とした。

全員賛成により継続

6月定例会の議決状況

町提案議案13件、請願審査1件、議員発議3議案、全議案について全員賛成により可決した。

広報モニターから

ひとつこと④

大塚 齋藤れい子さん

急に暑さを感じた日、私には快適な場所(庁舎にもこんな所があったのか)に驚きました。そこは三階の議場。生まれて初めてのことで、まずは電話で場所の確認を行いました。

午後からの傍聴ということで二人の議員の一般質問は私が想像していた様子とは違い、静寂な雰囲気が終わりました。この町の縮図かなと感じました。

「森のマルシェ」がオープンし、予想通りなのか一般質問に期待していたのですが…。私がマルシェを訪れた時は、二人の客だけだったのでとても不安を抱いて帰りました(私だけ?)。

このたびの議会を傍聴させていただき、手元に届く議会だよりがとても重く感じられ、家に帰って再度読み返しました。季節感の表紙には思わずニコリさせられますね。二年連続日本一に輝いた功績には大拍手!!編集委員の方々の汗の王冠です。モニターの一員として、町民として嬉しい限りです。いつの日かこの町にも「若い元気な女性議員誕生」を願って…。

使い道はこうでした

議員に交付する政務活動費の使途

| 経費 | 内容 |
|----------|---|
| 調査研究費 | 議員が行う町の事務、地方行政等に関する調査研究(視察を含む。)及び調査委託に要する経費 |
| 研修費 | 1 議員が行う研修会、講演会等の実施(共同開催を含む。)に要する経費 2 団体などが開催する研修会(視察を含む。)、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費 |
| 広報・広聴費 | 議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費 |
| 要請陳情等活動費 | 議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費 |
| 会議費 | 1 議員が行う各種会議、住民相談会等に要する経費 2 団体などが開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費 |
| 資料作成費 | 議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費 |
| 資料購入費 | 議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費 |
| 事務所費 | 議員が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費 |
| 事務費 | 議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費 |
| 人件費 | 議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費 |

議員活動に対する政務活動費が、毎月1万円交付されている。議会では議会基本条例に基づき、その使途を平成25年度から公表している。各議員から報告があった平成27年度の政務活動費の使途状況は、下表のとおり。議会ホームページで、領収書を公開している。

| 議員名 | 支出 | | | | | | | | | | 収入 | |
|-----------|--------|-----|--------|----------|-----|--------|--------|------|--------|-----|---------|--------|
| | 調査研究費 | 研修費 | 広報・広聴費 | 要請陳情等活動費 | 会議費 | 資料作成費 | 資料購入費 | 事務所費 | 事務費 | 人件費 | 政務活動費 | その他 |
| 加藤 俊一 | 54,546 | | | | | 4,814 | 40,500 | | 22,000 | | 120,000 | 1,860 |
| 高橋 照夫 | 32,357 | | | | | | 40,500 | | 67,360 | | 120,000 | 20,217 |
| 佐々木賢一 | 54,546 | | | | | | 9,024 | | 62,051 | | 120,000 | 5,621 |
| 金子 一郎 | 54,546 | | | | | | 9,024 | | 67,360 | | 120,000 | 10,930 |
| 高梨 勇吉 | 32,357 | | 44,622 | | | | 9,024 | | 44,680 | | 120,000 | 10,683 |
| 齋藤 修一 | 54,546 | | | | | | 40,500 | | 45,750 | | 120,000 | 20,796 |
| 淀 秀夫 | 54,546 | | | | | | 9,024 | | 67,360 | | 120,000 | 10,930 |
| 斉藤 智志 | 32,357 | | 11,722 | | | 2,370 | 53,054 | | 22,000 | | 120,000 | 1,503 |
| 遠藤 章一 | 54,546 | | | | | | 56,700 | | 22,000 | | 120,000 | 13,246 |
| 橋本 欣一 | 32,357 | | | | | 38,995 | 28,224 | | 22,000 | | 120,000 | 1,576 |
| 神村 建二 | 32,357 | | 44,200 | | | 11,313 | 28,994 | | 22,000 | | 110,000 | 28,864 |
| 鈴木清左衛門 | 32,357 | | | | | | 69,492 | | 22,000 | | 110,000 | 13,849 |
| 鈴木 幸廣 | 32,357 | | | | | | 69,492 | | 29,344 | | 110,000 | 21,193 |
| 伊藤 進 | 32,357 | | | | | | 18,148 | | 65,243 | | 110,000 | 5,748 |
| 伊藤 寿郎 | 54,546 | | | | | | 34,672 | | 44,982 | | 110,000 | 24,200 |
| 島貫徳右工門(前) | | | | | | | 11,263 | | | | 10,000 | 1,263 |
| 黒澤 巖(前) | | | | | | | 11,712 | | | | 10,000 | 1,712 |

まどか収益増加

大きなリニューアル効果



リニューアルで大人気のレストラン

地方自治法の規定により、町が資本金、基本金その他これらに準ずるものを2分の1以上出資している法人等は、町長が議会に経営状況の報告を要するとされている。本町では、(株)ダリヤパークサービス、体育振興公社、土地開発公社が該当する。

株式会社ダリヤパークサービスは、「町民の保養」「健康増進」「地域間交流」を基本に事業運営をしている。平成27年4月21日にリニューアルオープン。それに合わせたレスト

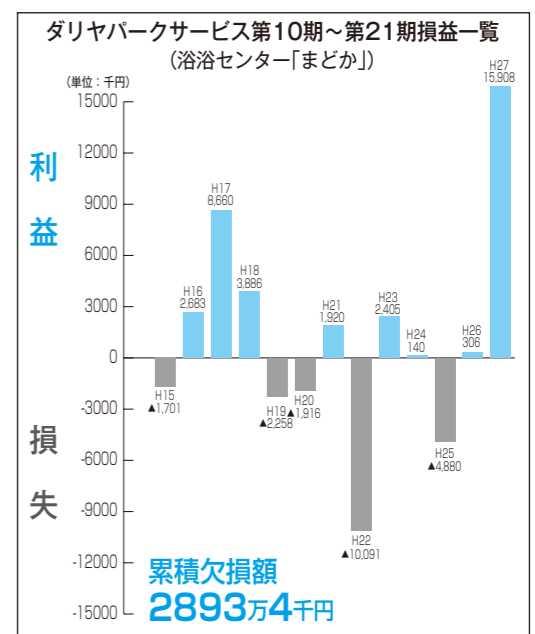
ランメニューの開発など、「まどか」オリジナルメニューの充実を図った。年間を通して多くのお客様を迎えることができ、結果として8年ぶりに10万人を超え、総利用者数は(温泉・宿泊・宴会・レストラン)は、11万7910人となり、いずれの部門も大幅増となった。エレベーターの新設、客室・宴会場・レストラン等が明るいイメージで清潔感にあふれる施設にリニューアルされたことが、お客様のニーズにあった施設になったものと思われる。経営面では売上高で指定管理料(2285万1千円)を含め、1億9123万2千円となり、前期利益を大幅に上回る1590万8千円の黒字となった。今後も、各項目の実態を精査し、健全経営となるよう日々注視していく必要がある。

川西町総合体育館と川西町総合運動公園の管理運営を行い、町民の主体的な生涯教育を通して健康体力づくりの拠点としての施設機能が十分生かせるよう、

川西町土地開発公社

平成27年度は、川西町6次産業化拠点施設建設用地(6562・88平方メートル)の売却(価格は8968万6086円)及び尾長島工業団地付帯用地(1028平方メートル)の取得、駅東地区住宅団地造成用地の公用地部分並びに尾長島地区企業誘致用地残区画の売却促進を行った。

スポーツ振興に努めてきた。また、各種事務局業務を通し、各競技団体と連携を図り、計画的な継続的なスポーツ活動の支援に努めた。



総務文教常任委員会 遅筆堂文庫の本を生かす



じっくりみればいい本がいっぱい

5月10日、井上ひさし氏の没後6年を機に、「川西町の宝」であるフレンドリープラザ・遅筆堂文庫をさらに充実・発展させるため、視察調査を行った。本施設の管理運営主体である「NPO法人・遅筆堂文庫プロジェクト」から現状や問題点、それに今後の課題などの説明を受けた。現在、本町が井上ひさし氏から寄贈を受け

た蔵書の合計は、22万4177冊である。その内、井上氏の遺志を受け、協定を締結して、遅筆堂文庫山形館（シベール）に2万2567冊を貸し出している。シベールとの書籍を「回遊」しての関係は、今後とも継続していくこととなる。

また、遅筆堂文庫展示以外の蔵書は、6月4日にオープンした、川西町交流館あいばる

(旧二中)に展示・公開され、さらに充実を図ることになった。

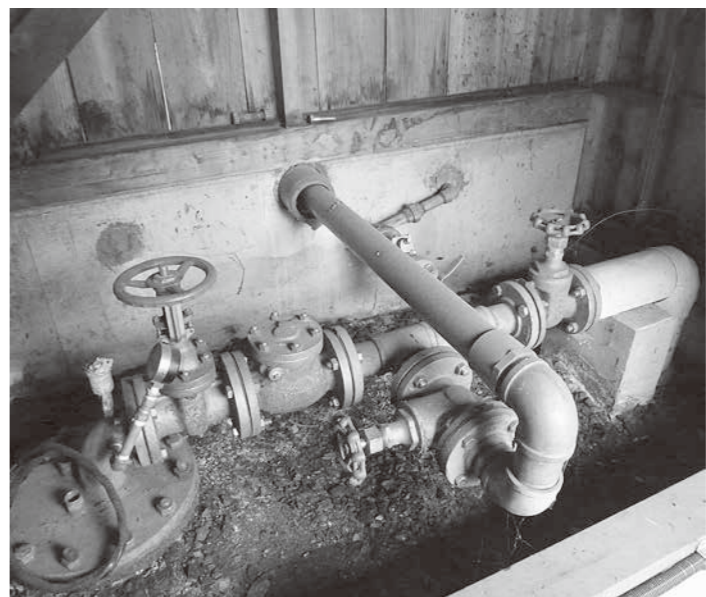
さらに、川西町の図書館については、特徴

的活動として各小学校を訪問して行っているブックトークの年27回の実施が評価されている。

前後で、諏訪公園内(置賜農高西)にあり、約2キロメートルのパイプラインで平谷地内に送り、ボイラーで45度程度に加熱して浴槽に供給している。お湯の噴出量は毎分210リットル、加温後の供給量は50リットルで、要望が多い露天風呂に供給するには湯量が少ないため、増設は難しいようである。

源泉汲み上げの設備、パイプライン、加温ボイラーの電気設備等が設置時のままで、不具合がいつ出てもおかしくない状態だという。

源泉はまどかの生命線である。設備の改修か、新たな源泉の掘削が迫られそうである。



意外と知らない「まどか源泉」

産業厚生常任委員会 まどかの源泉は大丈夫か

5月18日、まどかの源泉とリニューアル後の状況を視察調査した。まどかの源泉は30度の

広報広聴常任委員会 「かわにし議会だより」 まだ伸びしろあり

5月25日、山形市のビッグウイングで、第33回町議会広報研修会が開催され、委員6人が参加した。

講師は、全国コンクリートの審査委員でもある、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏であった。

紙面づくりの上で、住民の目に留まり、わかりやすい表現で、いかに読んでもらうかなどの、読み手(住民)を意識し、紙面に誘導するテクニックや工夫の講義が行われた。

実際の広報紙のクリニック(紙面指導)も行われた。今年は例年より多い13紙の指導であった。一つ一つ丁寧に、詳しい指導がされた。



クリニックでも高い評価(審査委員 長岡先生前列中央と)

本町議会だよりも指導を受けた。最優秀賞を受賞したが、文字飾りの使い方、リードの位置や全体の構成など指摘があり、まだまだ伸びしろがあるとの指摘であった。真摯に生かしていきたい。

5月23日
全員協議会

1、平成29年度川西町重要事業要望について
国道287号規格の高い道路の整備促進はじめ、22項目の重要事業要望項目の説明があった。

2、高山小学校、玉庭小学校学区再編検討委員会協議結果について
高山小学校は再編、玉庭小学校は継続という地域の協議結果が報告された。

3、玉庭へき地保育所のあり方検討委員会協議結果について
公設公営によるへき地保育所の運営を継続してほしい、という地

6月13日
全員協議会

1、公立置賜総合病院周辺整備構想調査について
かわにし未来ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略のリーダーングプロジェクトに位置付けられており、その基礎的な調査の報告があった。

今後、事業化に向けた整備計画を策定する必要がある。

2、小学校学区再編の方針と今後の進め方について
4校区で協議を行った学区再編について、

地域の意向を踏まえ、高山小学校、東沢小学校の学区再編を実施する。平成30年4月開校を目標に、それぞれ中郡小学校、小松小学校との開校準備委員会を設置し、協議を進める。

3、ふれあいの丘(パークゴルフ場)整備事業の進捗状況について
6月10日に入札を実施。平成29年10月完成を目指す。芝張工事は適期である29年4月6月とする。

4、「日本の書道文化」ユネスコ無形文化遺産に登録するための賛同について
議会として、趣旨に賛同し署名することとした。

意見交換会

8月18・19日
皆さんおいでください



平成27年度 中郡地区交流センターにて

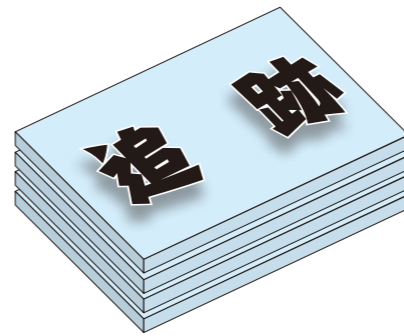
議会では、町民の皆さんの多様な意見、要望をお聞きして、町長に提言しています。

今年のテーマは「人口減少対策について」とし、サブテーマに

- ①若者定住。移住促進のための対策
- ②子育て支援の在り方
- ③6次産業化推進による雇用拡大対策
- ④高齢者の生活環境対策

について、皆さんの意見をお聞きします。議員一人ひとりの考えもありますが、あくまで議会全体として統一した方向性をもって臨みますので、あらかじめご理解をいただきたいと思っております。

テーマ以外のことについても、ご意見を出していただきたいと思います。気軽にご参加ください。

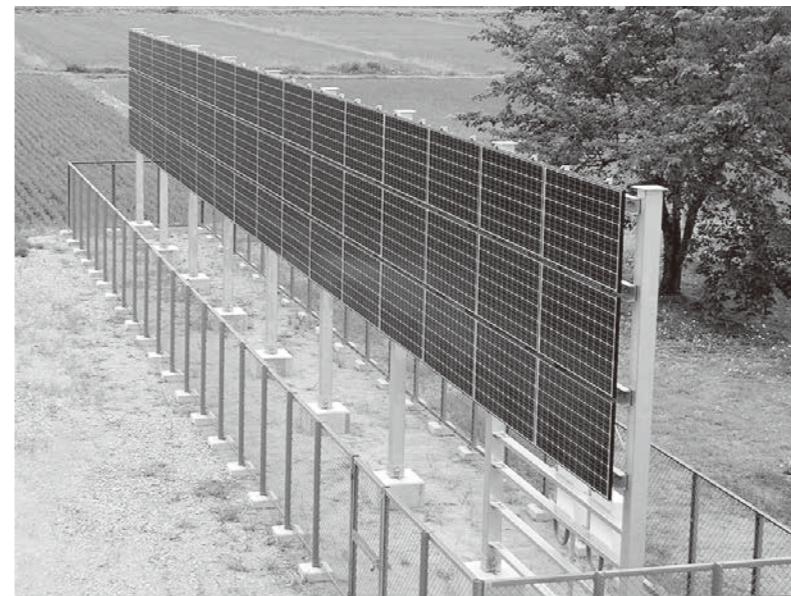


**あれから……
どうなった!**

再生エネルギーの動向

太陽光発電の普及に期待

町では平成20年にエネルギービジョンを策定し、主に雪冷房システムを導入を進めてきた。再生エネルギーには他はまだまだ利用でき



東沢活性化センターに設置された太陽光パネル

た。(議会日より124号参照)

るものがある。例えば水路などの流水を利用した小水力発電、木質系チップなどを利用した火力発電、畜産などの糞尿からのメタンガス利用の水素発電などがある。一番普及しているのは何と言っても太陽光発電だろう。

太陽光発電の助成終了

町としても、再生エネルギーの普及によりCO₂の削減をはかるべく、平成22年から27年までの6年間、太陽光パネル設置者に対し上限20万円の助成を行ってきた。現在までの助成件数は、新築での設置で

16件、既築は79件の合計95件となり、補助額の総額は1220万円であった。国・県の補助制度が終了し、普及のための呼び水の効果も出始めたこと、太陽光パネル自体の単価も下がったことも影響し、より導入しやすくなったことなどから、町も昨年度で助成制度を終了した。

施設利用と企業の参入は

町有施設での活用は国の補助制度を利用し、小松小学校、フレンドリープラザ、東沢活性化センターに設置された。主に災害などの緊急時利用となる。

今後の方向は

太陽光パネルは、施設の価格が従来より大幅に下がっており、個人でも導入しやすい状況となってきた。

一方で売電価格が下がっており、企業参入の面では難しくなってきた。CO₂削減に大いに役立つ施設であることから、一層の普及が望まれる。

民間企業やNPO法人の進出もあり、すでに6社がそれぞれ上小松、高豆薙、吉島、玉庭、東沢地内で事業を開始している。

旧サンマリーナ地内や旧日興ロイヤルゴルフ場跡地にも大規模発電施設が予定されている。こちらは、会社運営や関連施設の設置の問題で事業開始が遅れている。

ICT活用を研究

※ICT活用を研究

最近、WiFi（ワイファイ）、インターネット、SNSの普及とともに議会の各種事務連絡や資料などのペーパーレス化（紙を使わない媒体）が徐々に広がってきている。パソコンの軽量化やタブレット化、スマートフォンでの持ち込みが可能

| 日程 | | |
|----------|------------|----------------|
| 開催期日 | 時間 | 場所 |
| 8月18日(木) | 午後7時から9時まで | 東沢(東沢活性化センター) |
| 8月18日(木) | 午後7時から9時まで | 吉島(吉島地区交流センター) |
| 8月19日(金) | 午後7時から9時まで | 犬川(犬川地区交流センター) |
| 8月19日(金) | 午後7時から9時まで | 玉庭(玉庭地区交流センター) |

テーマ：人口減少対策について

となってきたことが要因である。

行政側の取り組みがないため、議会側だけの導入では、二重の手間がかかることになり、非効率的である。また、議員個人の対応もまちまちであるため、今後「議会ICT研究会」で、導入に向けての検討を進めていく。

まちの未来が見える(6月定例会の傍聴者は17人)

議会傍聴においでください

次の定例会は9月

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継されます

自然を生かした公園があれば

吉島地区にお住いの、遠藤エミさんに、子育てや、町に望むことなどをお聞きしました。

プロフィール

遠藤 エミ

川西町生まれ
小学3年生、夫と3人家族
野菜作りに奮闘中！



生まれも育ちも川西町

私は、川西町に生まれ育ち町内に嫁いで来ました。こんなもんだなと思って何も感じず生活してきました。でも、遠出をして地元から離れると早く家に帰りたくなります。のびのびとして、自然豊かで空気のおいしい川西町が恋しくなるんです。遊ぶには物足りないのですが、子どもを育て生活するにはとても良い町だと思います。

子育てして思うこと

私の家では、子どもが3歳の時に義母、6歳の時に義父を亡くし、今は3人だけの核家族になってしまいました。子どもが、小学校に入るといろいろと問題がありました。見守り



スポーツ大好き家族

隊の方々や学童保育の先生方のおかげで安心して仕事をしながら子育てできています。幸せに思います。

休日は、家族3人で家庭菜園をしています。知識もないので、野菜作りのプロフェッショナルである近所の方々に教わりながら何とか頑張っています。

また、近所の子育て中のお母さん方や子育ての先輩方との交流もあって、とても頼りにさせていたいただいており、川西町民の人の良さ温かさを実感しています。そんな、温かい、親しみ感のある川西町を作ってきた、おじいちゃん、おばあちゃん方

ありがとうございます。私たちも子どもたちに、「受け継いでいきますね。」と言いたいです。

川西町に望むこと

川西町のキャッチフレーズである「緑と愛と丘のあるまち」にふさわしく、豊かな自然を生かした大規模な公園ができれば、スポーツ好きな我が家としてはとてもうれしいことです。アスレチックや遊具、遊歩道や足つぼロードなどもあれば、子どもから高齢者と幅広い年齢層の方々が集まれる場所になるのではないのでしょうか。

編集のあとで

▼議会だよりを担当してからはや1年。▼「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかしく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに、まじめなことをゆかいに、そしてゆかいなことはあくまでゆかいに」と井上ひさし氏。▼ウィットに富んだ表現ということか。▼読みやすくわかりやすい紙面づくりを今後も目指します。(進)

- 発行責任者 加藤 俊一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 橋本 欣一
- 委員 鈴木清左衛門
- 同 鈴木 幸廣
- 同 伊藤 進
- 同 伊藤 寿郎
- アドバイザー(文章) 金子 勤
- アドバイザー(写真) 平田 和雄
- アドバイザー(写真) 青木 督平
- 青木 源一
- 鳴 源一
- 齋藤 史郎